

# 神戸教区 次期主教決定!!

2017年6月17日(土)に日本聖公会センター(牛込聖公会バルナバ教会)で、日本聖公会第63(臨時)総会が開催され、神戸教区主教選挙が行われました。

2名の候補者(吉田雅人司祭と小林尚明司祭)の推薦があり、第8回目の投票で神戸教区のオーガスチン小林尚明司祭が当選されました。

オーガスチン小林尚明司祭の略歴については以下のようになっています。

・1960年8月3日生  
福山諸聖徒教会において幼児洗礼 聖公会神学院卒業

## 神戸教区での主な経歴

・1987年4月 富岡キリスト教会にて伝道師認可。  
・1987年10月 執事按手  
・1988年10月 司祭按手  
・1989年8月から2年間英国チチェスター神学校へ留学  
・1991年9月 富岡キリスト教会牧師、広島復活教会牧師を経て 現在徳島インマヌエル教会牧師。

その間7教会の管理牧師を歴任。

## 《これまでの役職》

・宣教部長、神学塾運営委員長、宣教委員長、広島平和礼拝実行委員長、宣教協議会委員長、常置委員、その他 聖公会カレンダー(ベロニカ会)発行責任者。

## 《関係施設》

・2011年4月より栄光幼稚園園長  
・2014年4月より栄光保育園施設長兼務 その他聖公会関係また超教派の複数の施設の理事等を務める。

## 日本聖公会管区委員

・2004年より 教役者遺児教育基金運営委員・建築金融資金運営委員 現在に至る。  
・2013年 正義と平和委員会委員



(小林 尚明 司祭)

# 英国通信

## 司祭 與賀田 光嗣

## 教会とテロ

ヨーロッパでは、そしてイギリスではこのところテロが続いています。

三月末にロンドンのウエストミンスターにて国会議事堂に対してテロ。五月下旬にはマンチェスターでのアリアナ・グランデのコンサート会場で起きたテロ。六月頭にはロンドン橋を車が暴走し、バラマーケットで多くの人が刺殺されるといふテロ。六月下旬にはロンドン北部のモスク(イスラム教の教会のようなもの)で礼拝の帰りを狙ったテロ。わずか三ヶ月の間に四件のテロが起き、イギリスは今、揺れています。

ヨーロッパで最も進んだ宗教教育——中学まで宗教科が義務教育。キリスト教、ユダヤ教、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、仏教の六宗教を通して社会の問題を考える——をなしているイギリスだからこそ、

その衝撃は大きいのです。しかし、このような時だからこそ、人々は自分の宗教的信念に立ち返り、平和を求めようと祈り行動しています。

三月末のテロの後、とある日曜日のことです。英国教会を代表するエリザベス女王は王室礼拝堂での聖餐式を終えると、自身が運転するジャガーでウエストミンスターの近くを通りバッキンガム宮殿へ戻りました。女王自ら率先して日常生活を送ることをアピールしたのです。

五月下旬のマンチェスターのテロから二週間後、ロンドン橋のテロの翌日、聖霊降臨日の日に弱冠二十三才のアリアナ・グランデはマンチェスターに戻ってきました。再びコンサートをするためです。コンサートの中では、あるアーティストが「隣の人の目を見て、I love youと言って下さい」と呼びかけ、会場は隣人に愛を伝える声で包まれました。

六月下旬のモスクを襲ったテロの後には、聖公会の主教や司祭たちが各地域のモスクへ赴いています。私が入り込む地域のギルフォード教区主教も最寄りのモスクへ立ち寄りしました。イスラム教徒の人々と共に祈るためです。

平和と和解、そして差別と偏見と戦うために、各宗教者は各宗教に基づいて祈り行動することが求められています。

(立教英国学院チャブレン) ※写真提供:ギルフォード教区



(ギルフォード教区主教とイスラム教徒)